


## ■本資料のご利用にあたって(詳細は「利用条件」をご覧ください)

本資料には、著作権の制限に応じて次のようなマークを付しています。  
本資料をご利用する際には、その定めるところに従ってください。

**\*** : 著作権が第三者に帰属する著作物であり、利用にあたっては、この第三者より直接承諾を得る必要があります。

**CC** : 著作権が第三者に帰属する第三者の著作物であるが、クリエイティブ・コモンズのライセンスのもとで利用できます。

 : パブリックドメインであり、著作権の制限なく利用できます。

なし : 上記のマークが付されていない場合は、著作権が東京大学及び東京大学の教員等に帰属します。無償で、非営利的かつ教育的な目的に限って、次の形で利用することを許諾します。

- I 複製及び複製物の頒布、譲渡、貸与
- II 上映
- III インターネット配信等の公衆送信
- IV 翻訳、編集、その他の変更
- V 本資料をもとに作成された二次的著作物についての I からIV

ご利用にあたっては、次のどちらかのクレジットを明記してください。

東京大学 Todai OCW 学術俯瞰講義  
Copyright 2012, 島田竜登

The University of Tokyo / Todai OCW The Global Focus on Knowledge Lecture Series  
Copyright 2012, Ryuto Shimada

2012年度冬学期学術俯瞰講義:「世界史」の世界史

## 近代的学問としての世界史・1

# 実証すること、法則を見出すこと

東京大学文学部 東洋史学研究室  
島田竜登

# 担当の講義

## 「近代的学問としての世界史」

- ▶ 第3回:10月29日  
「実証すること、法則を見出すこと」
- ▶ 第4回:11月5日  
「比較史のなかの日本・アジア」
- ▶ 第5回:11月12日  
「近代を超越して新たな世界史を描く」

# 今日の講義の内容

今回の学術俯瞰講義は、世界史を考えようとするものではあるが、ひとまず今日は近代の歴史学が抱える問題性を考えてみたい。

- ▶ 「近代歴史学」と実証主義

- ▶ 法則定立的歴史学

⇒ 両者の特徴と限界を考察する

# 「近代歴史学」と実証主義

# 「近代歴史学」とは

- ▶ modern historiography
  - modern history とは異なる
- ▶ 実証主義的歴史研究
- ▶ ランケ Leopold von Ranke (1795-1886)に始まる。
- ▶ 「ある対象の過去の姿を、時間軸(時系列)に沿って実証的に整理・確定して示す」[前回の羽田先生]
- ▶ 「厳密な史料批判によって過去を「あるがままに(事実として)wie es eigentlich gewesen ist」とらえようとする」[前回の羽田先生]
- ▶ 実用主義的歴史叙述を排除

# 「近代歴史学」と日本

- ▶ 1887(明治20)年、東京大学(帝国大学)に史学科設置
- ▶ 同年、ドイツ人教師リース Ludwig Riess(1861-1928)が着任。ランケの弟子。
- ▶ 1889(明治22)年、リースの主唱で史学会創設。『史学会雑誌』(3年後、『史学雑誌』と変更)発行。
- ▶ 『史学会雑誌』第1号:重野安繹「史学に従事する者は其心至公至平ならざるべからず」

# 実証は万能か？

- ▶ 史料を集め、史料批判を行うことで歴史が描けるか
  1. すべての史料・記録などを集めることの困難さ
  2. たとえ史料を集め、厳密に吟味したところで、歴史を叙述する際には推論を行わざるを得ず、完全に客観的であり得るだろうか？
  3. 歴史叙述はもちろん、史料集作成においても、完全に客観的であることは不可能。むしろ、歴史家によって異なる叙述となるほうが自然。



# 法則定立的歷史學

# 歴史の法則？？？

- ▶ そもそも、なにゆえに歴史を研究するのであろうか？
  1. 好きだから。
  2. 歴史から学ぶため。
    - ①成功と失敗の歴史に学ぶ
    - ②歴史から法則性を読み取り、将来を予測する、あるいは将来をすぐれた方向に導く
  3. ほかに、あれこれ理由はある。

# さまざまな発展段階論

- ▶ リスト Friedrich List (1789–1846)

未開状態 → 牧畜段階 → 農業段階 → 農工業段階 → 農工商業段階

- ▶ ヒルデブランド Bruno Hildebrand (1812–1878)

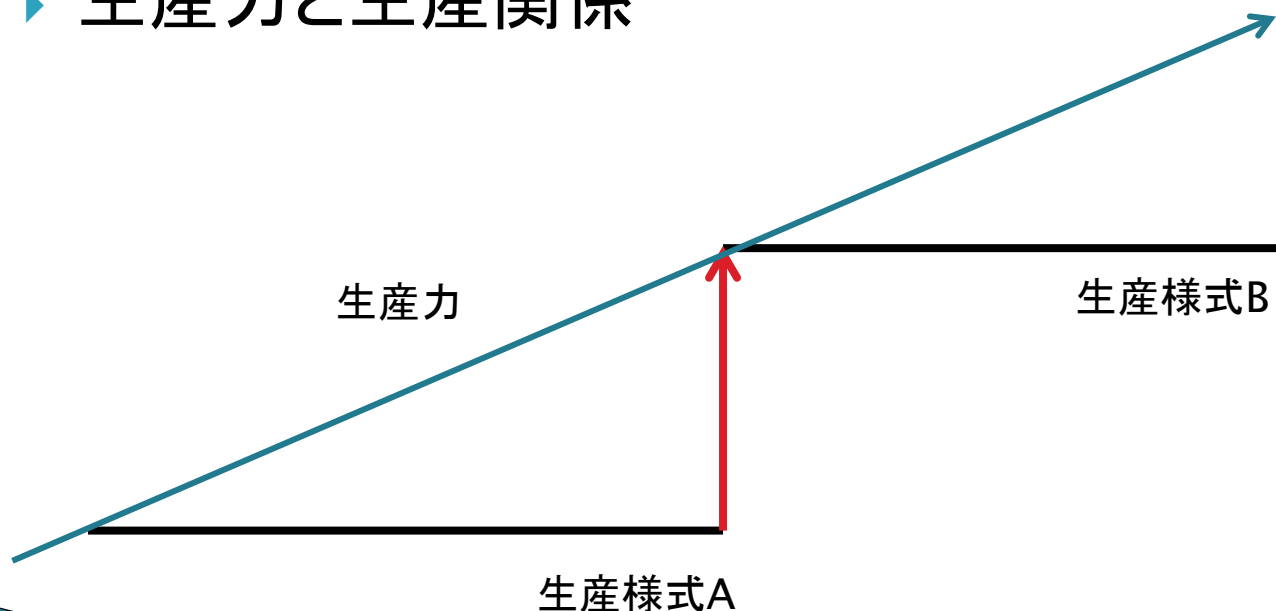
現物経済 → 貨幣経済 → 信用経済

- ▶ ロストウ Walt Whitman Rostow (1916–2003)

伝統社会 → 離陸のための先行条件期 → 離陸期 → 成熟への前進期 → 高度大衆消費時代

# マルクスの史的唯物論

- ▶ マルクス Karl Marx (1818-1883)
- ▶ アジア的生産様式 → 古典古代的生産様式 → 封建的  
生産様式 → 資本主義的生産様式 (→ 共産主義社会)
- ▶ 生産力と生産関係



# 法則から歴史をみることの限界

- ▶ 西ヨーロッパないしは西洋世界の歴史から抽出された発展モデル  
⇒ その他の地域に適応可能かどうかわからない。
- ▶ マルクスの史的唯物論を例にとれば、
  - ① そもそも「アジア的生産様式」とは？
  - ② ソ連などの崩壊

# 今日のまとめ

## 「近代歴史学」と実証主義

- ▶ 「近代歴史学」とは
- ▶ 「近代歴史学」と日本
- ▶ 実証は万能か？

## 法則定立的歴史学

- ▶ 歴史の法則？？？
- ▶ さまざまな発展段階論
- ▶ マルクスの史的唯物論
- ▶ 法則から歴史をみることの限界

# 討論のテーマ

- ▶ あなたにとっての歴史とは？
  - ▶ 歴史の法則、世界史の法則は存在するのか？
  - ▶ 歴史学とはどうあるべきか？
  - ▶ 歴史学の客観性と有用性との関係は？
- 